

清和の子 守り育てる地域の力

学校運営協議会だより

令和2年6月9日

清和小学校学校運営協議会

「鈴鹿型」コミュニティ・スクールと学校運営協議会

「コミュニティ・スクール」は、学校・家庭・地域が一つになって、よりよい学校づくりに取り組んでいく仕組みです。

鈴鹿市ではすべての小中学校を「コミュニティ・スクール」に指定し、学校運営協議会を中心とした「特色ある学校づくり」を進めています。

「学校運営協議会」では、保護者や地域の方等の委員で構成され、よりよい学校づくりの当事者として、それぞれの強みや知恵を出し合います。

今年度の清和小学校の学校運営協議会は、昨年度に引き続き、鎌田正行委員長（地域関係者・清和公民館館長）をはじめとする11名の委員と事務局2名で構成されています。年6回の会議をもち、協議が行われます。

＜令和2年度 学校運営協議会委員＞

- 委員長 鎌田正行（地域関係者・清和公民館館長）
副委員長 磯部和生（地域関係者・算所町自治会長）
委員 山本恭弘（地域関係者・三日市町自治会長）
委員 大原多智子（地域関係者・牧田主任児童委員）
委員 佐野竹美（地域関係者・飯野民生委員・児童委員）
委員 加藤敏之（地域関係者・学校支援ボランティア）
委員 坂倉孝幸（PTA関係者・PTA顧問）
委員 浅田建（PTA関係者・PTA副会長）
委員 古市綾子（PTA関係者・地域コーディネーター）
委員 宇圓田有香（PTA関係者・地域コーディネーター）
委員 岸原正治（学校長）
事務局 奥村仁（教頭）
事務局 能仁宏樹（コミュニティ・スクール担当教諭）
アドバイザー 杉谷直俊（鈴鹿市教育委員会事務局 学校支援課）

第1回学校運営協議会より

令和2年5月29日（金）第1回の運営協議会が行われました。
おもな協議内容を紹介します。

1 令和2年度の学校教育について

学校からの資料説明後、（1）～（4）について全会一致で承認。

（1）学校経営の改革方針について

（2）学校自己評価について

- ・ 「学校経営計画」「学校関係者評価書」の項目の下には、それぞれの教職員の方策・計画が入る。教職員が自ら考え、行動していくことが必要である。

（3）各種年間計画について

- ・ 新型コロナ感染対策で各種行事の変更等は？
→ 6月1日に行事予定を配布し、変更があることを記す。

（4）学校配当予算について

2 清和小学校での諸課題について

（1）新型コロナ対策について（感染拡大防止、各種行事変更等について口頭説明）

（2）教職員の働き方改革について

（3）その他

3 その他

- ・ 古紙、アルミ缶回収について

4 質疑応答

- ・ 臨時休業長期化に伴い「ゲーム依存症」を心配している。市でも取組をお願いしたい。
- ・ 休校中の子どもの自主学習は難しい。個々の学習状況を把握した学校の対応が必要。
- ・ 新型コロナウイルス感染が重症化しやすいといわれる基礎疾患を持つ児童の把握が必要。なぜそうするのかという理由を説明した感染拡大防止が大事。

5 鈴鹿市教育委員会アドバイザーより

- ・ 新型コロナ状況下、市内でも書面での議決が多い中、第1回の学校運営協議会開催の決断をたたえたい。向かい合っていると質問も出る。顔を合わせた協議会は大切でたいへん有意義。
- ・ 新学習指導要領がスタートした。新しい学習指導要領がめざすのは社会に開かれた教育課程。地域と学校で「こんな子に育てたい」を共有しよう。